

発行

自衛隊札幌病院
豊友会事務局第65号
令和2年1月

最後に、今年はオリンピック・パラリンピックの開催など明るい話題にあふれた、幸せに過ごせる1年であることを祈念して、新年の挨拶といたします。

新年明けましておめでとうございます。令和初めての新年の幕開けを晴やかな年でお迎えのこととお慶び申し上げます。平成という時代は、戦争を経験することなく平和な時代であった一方で、失われた20年」とも称される経済の停滞や阪神淡路大震災や東日本大震災に象徴される自然災害など国民生活に負担となる事象も多く経験した時代でもありました。そんな中、自衛隊は「存在する自衛隊」から「活動する自衛隊」へと変貌し、特に度重なる災害派遣活動や国際貢献活動などを背景に国民からの信頼も向上し内閣府の調査でも90%以上の国民からの信頼を得るに至っています。さらに、日本を取り巻く国際情勢が年々厳しさを増す中、編成・装備の近代化につとめ、国内外における各種訓練等を通じ「強靱な陸上自衛隊の創造」に邁進してまいりました。陸自衛生も、方面衛生隊の創設や自衛隊病院の高機能化平成21年自衛隊中央病院、平成27年自衛隊札幌病院、第一線衛生救護員の創設など多くの改革を実行し成長してまいりました。そして、令和という新しい時代の到来にむけ昨年度には「防衛計画の大綱」および「中期防衛力整備計画」が新しく閣議決定され、前大綱に基づく統合機動防衛力の方向性をふまえつつ、宇宙・サイバー・電磁波を含むすべての領域において真に実効的な「多次元統合防衛力」の構築を目指すこととなりました。衛生の分野においても、このような新しい時代の戦い方における適切な後方支援のあり方を確立していかなければなりません。

「クオインタム・リープ quantum leap」という言葉は、量子飛躍あるいは量子力学的飛躍などと訳されます。従来の物理学では、物の変化は連続していると考えましたが、量子力学では不連続に変化すると考えますつまり、物が変化していくとき、あるところと飛びと飛躍するというわけです。この飛躍のことを「クオインタム・リープ」と言います。従来の概念の延長線上ではなく、新たな発想で新たな衛生支援態勢の確立を求められている今、まさに「クオインタム・リープ」的発想の転換が必要です。そして「クオインタム・リープ」という言葉は、転じて「（異なる次元への）大飛躍、めざましい発展」の意味でも使われます。不連続な飛躍に加えて、めざましい発展を目指して、皆で協力し知恵を絞っていきましょう。



「クオインタム・リープ」
自衛隊札幌病院長
陸将 大鹿 芳郎



「新年のご挨拶」
自衛隊札幌病院豊友会
会長 古家 隆司



明けておめでとうございます。皆様には、穏やかな年をお迎えのことと存じます。明治・大正・昭和の三時代を生きた人達が、まだ私が学生の頃は結構いました。彼らは概してとても頑固で恐ろしかった。昭和・平成・令和の三時代を生きたことになった私はどうだろう。果たして、彼らのような気骨があるだろうか。世の中を見るにつけ、そう思うのは、私だけではないのだと感じます。明治生まれの老人は、行儀の悪い若者を平気で怒鳴りつけたものです。今では、そんな光景は滅多に見られなくなりました。昭和から平成へ平和の時代が長く続きました。平和を表現し維持するために何が必要なのか、それを常に考え続けなければならないでしょう。それには、やはり気骨が必要なのです。

自衛隊は昭和に生まれ、苦難を乗り越え努力と成長の時代を経て、平成には、多発する自然災害や人災に対する災害派遣や海外派遣においてその組織力を活かし、素晴らしい成果を残し、多くの国民にその存在を認知され、そして信頼される存在となり、まさに充実の時代を築いてきました。それは令和になった今も継続され、益々その存在価値が大きくなり、成熟の時代を迎えることと思います。

自衛隊病院も自衛隊組織の発展とともに充実し、昭和の時代には、私達のような民間の医師や看護師の力に頼るところが大きかった。しかし、平成の時代には、防衛医大出身の医官や自隊養成の看護官等が病院や部隊衛生を支えるようになり、自衛隊の実際の活動の拡大に伴い衛生の重要性が増し、自衛隊内での存在だけでなく、病院のオープン化によつて、地域住民から見ても大きな存在となつてきています。それは、令和になった現在も継続され、これからも、その存在価値は大きなものとなるでしょう。

自衛隊札幌病院のOB会である豊友会もまた、病院の存在価値の大きさに伴って、昭和の良き時代の存在から平成、令和と時代の変遷に伴い、その役割や存在価値も多様で、より大きなものになっていくだろうし、いかなければならない。それには、先輩の良き伝統を守り、私が経験した中では他に類を見ない自衛隊の有する素晴らしい組織力を活かし、気骨をもつて、会員の皆様には、豊友会を運営していただくことを希望します。

就任から七年、これまで会長としての務めを、会員の深い信頼をもつて行い得たことは幸せなことでした。会長としての私を受け入れ、支えてくれた会員の皆様に心から感謝申し上げます。

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

<豊友会事務局便り>

事務局長:竹村晃良

1 事務局長挨拶

新年あけましておめでとうございます。

2020年東京オリンピックが開催される年になり、「マラソン・競歩」が突然札幌開催となりいろいろと問題になりましたが、札幌が世界に注目される年になりました。世紀の一瞬をこの目で見られることを楽しみにしてみんなで盛り上げたいものです。

今年も益々素晴らしい年となるとともに、御家族を含め会員皆様のご健勝で過ごされることを祈念申し上げます。今後ともご指導・御協力お願いいたします。

2 令和元年度後期の会議等

(1) 事務局会議

ア 毎月1回、第2木曜日1900から事務局（自衛隊札幌病院）において、各種調整・会誌の準備・発送、役員会の準備、新年会・総会の調整・準備等を実施しております。

イ 新年会の開催について

新年会の場所・内容の審議:

時期:令和元年1月12日(日)1800～

場所:ホテルライフオート札幌に決定し実施

(2) 役員等の人事

ア 会長交代及び後任者の検討中

イ 事務局員については随時増員交代を実施し、継続性を図り、役員会・総会で承認を受けた。令和2年度は数名の交代を計画しておりますのでよろしくお願い致します。



事務局員:12月事務局会議

3 新入会員等の状況

平成31年1月以降の入会者は12名

長原純一様(診療科)、坪佳子様(看護部)、津村直実様(看護部)、川東隆之様(方面衛生隊)、牧山博子様(看護部)、上部泰秀様(元院長)、千先康二様(元院長)、市村晃様(放射線課)、石岡康一様(放射線課)、柏葉祐司様(総務課)、小林誠様(総務課)、青田友恵様(看護部)

4 自衛隊札幌病院との連携

(1) 真駒内駐屯地盆踊り大会:

令和元年8月7日豊友会員の参加及び寸志(お酒)の提供

(2) 防衛衛生学会の支援・連携

時期:令和2年1月29日(水)

場所:学会:青少年会館、懇親会:アパホテル

連携要領:学会時・懇親会時の受付による会費徴収の実施予定



真駒内駐屯地盆踊風景

5 慶弔

(1) 慶事 (9名受章)

平成31年春の叙勲:

瑞宝双光章:一笠猛夫様、松浦紀之様

令和元年秋の叙勲:

瑞宝中綬章:小林秀紀様、瑞宝小綬章:高田和男様

瑞宝双光章:三井康照様、平岡三雄様、外山恵様

瑞宝単光章:平野良子様、上村一則様

(2) 弔事

令和元年夏号以降会員で逝去された方は承知しておりません。



中綬章 小綬章 双光章 単光章

6 豊友会誌投稿記事の依頼について

豊友会誌に掲載する記事について広く会員から募集しておりますが 中々記事の投稿が御座いません。仲間とこんな楽しいことをしています。今こんな趣味をしています。病院の思い出等々写真付きで出していたければ、幸いです。気軽に投稿して頂く様お願いいたします。

☆投稿方法:事務局員及び自衛隊札幌病院の下記メールアドレスへ送信又は郵送でも可能です。

自衛隊札幌病院企画室: saporohosp-na@inet.gsdf.mod.go.jp

事務局: bamvi0402@gmail.com

【6ページから続き】

第2は、世界の国々と同様に日本人が独自の憲法を持つことです。ご存知のように、現在の憲法は日本と日本人特に神道を誤解した占領軍によって作られたものです。平成の30年を不作為の時代と称する人もいますがこの間に日本は「国家国旗法」を制定し、教育基本法を全面改正し、教育の目標を「伝統と文化の尊重」そして「愛国心」を謳いました。憲法を改正するための手続法「国民投票法」も制定し、国会の両院に憲法調査会（H12年）を、そして憲法審査会（H19年）を作り、憲法改正の発議権を法律で認めました。国会で憲法改正を発議し、独立国の基本である日本人の憲法を制定する準備、そして国民が決める準備が進められてきました。

自国の安全を堅持し、皇紀2670年余の世界に稀有の長い歴史と伝統を持つ日本に誇りを持ち、英霊に敬意を表することが国家そして国民として最も大切なことでありましょう。

文責 若木利博

料理クラブ：レシピ紹介

スペアリブのママレード煮

会員：大久保 敬子（南区）

【材 料】 4人分

豚ばら肉(豚骨付き)・・・800g
ママレード・・・200g
しょうゆ・・・100ml
にんにく・・・2片
水菜・・・適量(レタスでもOK！)
ブロッコリー・・・適量
ミニトマト・・・適量



【 作り方 】

- ① にんにくは縦半分に切り、芽を取る。大きければ、さらに半分に切っておく。
- ② 野菜は水洗いして、ブロッコリーは小房に分けて茹でる。
- ③ 深めのフライパンを熱し、油を敷かず肉を並べて焼き色がつくまで焼く。
- ④ 両面にこんがり焼き色がついたら、ママレード・にんにく・しょうゆを加え、蓋をして中火で15分位焼く（*時々返しながら焼く）
- ⑤ 蓋を取り火を弱め、更に10分位返しながら煮詰める。
- ⑥ 器に水菜(レタス)を敷き、⑤を盛りトマト・ブロッコリーを盛り付ける。

MEMO

<*ポイント*>

肉を焼くときは、肉の表面が十分に焼けるとくつつかずに返せるので、無理に返さない。焼けるまでじっとガマンすることが大事！

年頭のご挨拶

総務部長



1 佐
中村宗一郎

謹んで新年のお祝いを申し上げます。皆様には、創立記念行事などご支援いただき、厚く御礼申し上げます。病院の移転から5年目を迎えますが、一般患者数が年々増加する一方、自衛官の患者数が減少しています。部隊のメデイカルレディネスの維持向上に寄与しつつ地域医療に貢献するため、病院利用率の向上に取り組んでまいりますので、一層のご支援をお願い致します。

副院長兼企画室長



将補
菊池勇一

本年も皆様からのご期待に応えるべく精進してまいりますので、引き続きの指導とご支援をよろしくお願い致します。

新年明けましておめでとうございます。豊友会の皆様におかれましては、良き新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。当院が真駒内に移駐してから早くも5年が経過しようとしています。周辺住民の方々にも少しづつご利用いただく機会が増えていますが十分ではありません。昨年からは各種施策を実施しているところであり、自衛隊以外の方々へのアピールには豊友会の皆様のお力添えが必要です。また、一般診療だけでなく災害時等の対応も当院に求められている役割の一つです。昨年10月の台風災害においては東北地区に医官3名を派遣しました。胆振東部地震の成果や教訓を踏まえ災害対処計画を見直し、11月にはその実効性を高めるための病院訓練を実施しました。現状に満足することなく、問題点を見出しながら機能向上に努めています。本年も皆様からのご期待に応えるべく精進してまいりますので、引き続きの指導とご支援をよろしくお願い致します。

衛生資材部長



2 佐
塚田 剛

本年も引き続き指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、穏やかに令和2年を迎えられたこと、お慶び申し上げます。旧年中は、ひとかたならぬご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。部は昨年にも院務運営基盤の維持・充実のため医薬品等の迅速な補給・医療器材等のタイムリーな整備及び薬剤管理業務の推進並びに質の高い薬物療法を提供して参りました。新春のお慶びを申し上げます。放射線技術課・研究検査課・栄養課それぞれ、患者さんへの安全な技術の提供に努めております。昨年は、医療情報システム換装に向け事業継続計画の視点もふまえ、各種業務及び紙伝票での運用要領を見直しました。旧病院のことを知る勤務員も減り、伝統を継承することの大切さを再認識しています。

診療技術部長



1 佐
岩本慎一郎

本年もよろしくお願い申し上げます。

新春のお慶びを申し上げます。放射線技術課・研究検査課・栄養課それぞれ、患者さんへの安全な技術の提供に努めております。昨年は、医療情報システム換装に向け事業継続計画の視点もふまえ、各種業務及び紙伝票での運用要領を見直しました。旧病院のことを知る勤務員も減り、伝統を継承することの大切さを再認識しています。

前任診療科部長



1 佐
吉 積 司

本年も引き続き温かいご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。豊友会の皆様には平素より大変お世話になっております。診療科は、今年もチーム医療を推進し、隊員・家族及び地域の皆様に信頼され、質の高い医療を提供できるよう努力していく所存でございます。

最先任上級曹長



准尉
伊藤弘人

本年もご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。豊友会の皆様には平素より大変お世話になっており厚く御礼申し上げます。これからも皆様と連携しながら豊友会を盛り上げていきたいと思っておりますので、本年も引き続き温かいご指導とご支援をお願い申し上げます。

准看護学院長



1 佐
高橋俊幸

本年もご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。豊友会の皆様には平素より大変お世話になっております。准看護学院では、4月に入學した44期生、陸曹候補生課程を終え大きく成長した43期生が日々勉学や実習に励んでいます。自衛隊衛生の宝である准看護師学生を衛生発展の原動力となるよう職員一同、情熱を持って教育を行う所存です。

看護部長



1 佐
大石真由美

本年も引き続き温かいご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。最初の新年を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。看護部は今年も隊員・家族・地域の方々の健康を支え、よりよい医療が提供できるよう質の高い看護を目指してまいります。新しい時代に活躍できる看護官の育成に努める所存でございます。

令和元年度 8 月号以降の「定年退官者」

小林誠様(9/4)、野田幸永様(10/16)、青田友恵様(10/28)、中林弘孝様(11/29)、本間幸一様(12/26)

《SHGC便り》

〇令和元年SHGC最終戦



令和元年最終戦第7回SHGCが10月13日日曜日、過去経験したことのない超大型台風19号の通過の中、有志25名の参加を得て、シャトレーゼCC札幌にて開催されました。

田付会長の開会挨拶の後、プレーが開始され、台風の影響による強風にもかかわらず、和気あいあいの中で真剣なプレーが行われました。（雨はありませんでした。）

大会後、コンペルームで表彰式が行われました。

結果は、優勝は市川薫様（NET72.0 GROSS 106）、準優勝が近藤伸彦様（NET73.0 GROSS 99）でした。

また、ベスグロは、高橋康彦様（GROSS 83）

文責 会員 町田陽信

※備考

- 1 HSGCは、昭和47年から活動しています。
- 2 4月から10月まで月1回開催されています。（年7回）
- 3 お問い合わせは、会員 町田陽信（南区）まで



優勝者市川薫さんと田付会長

会員からのお手紙（お礼文及び残暑お見舞い）

酒向 劉三（内）
（2019.10.2）前略

先日は豊友会様からご立派な米寿のお祝いのお花をお届けいただきまして誠にありがとうございます。

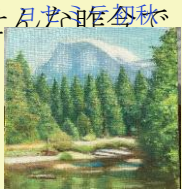
おかげさまで家族皆主人が米寿を迎えられた事をうれしく思っております。今年の4月に大腿骨折してから入院が続いて今は老健に入っておりますが、日々元気に過ごしております。豊友会の皆様のご健康とご親睦をお祈り致します。

かしこ

猛暑お見舞い申し上げます 若木 利博
（2019.9.8）

（前文略）当方、自衛隊中央病院で大きな心臓の手術を受け、その後も田中先生にお世話になりながら、何とか頑張っています。昨年11月に公益財団法人偕行社の事務局長を下番し現在「英霊にこたえる会」の事務兼運営委員長を務めています。寺島会長のリズムに合わせる苦労もありますが。指導をいただきながら毎日靖國神社の事務局に通っています。時の流れの速さを、痛感します。もう2年未納ですか！毎年ご案内を頂き懐かしい皆様の思い起こしながら、行けないかな！そのお返事をす千先先生には、時々会います。

医療の根幹に関わるお仕事の様です。事務局長はじめ、札幌病院が遠くならないうちに皆様にお会いしたいものです。油絵も頑張っています。ご健勝を祈ります。



《令和元年度災害対処訓練》



作戦室で指揮を執る病院長



大量傷者対処チームの連携

令和元年11月23日（土）自衛隊札幌病院は、北海道胆振東部地震の成果を踏まえ修正した自衛隊札幌病院災害派遣行動規定に基づき各種初動災害計画及び自衛隊札幌病院災害派遣行動規定に基づき各種初動災害計画の実効性について検証するとともに、事態発生時における対処能力の向上を図ることを目的に災害対処訓練を実施しました。

訓練に先立ち、職員一人一人がアクションカード（災害時における任務・地位・役割）を作成するとともに、図上訓練を実施して、発災後の行動についてイメージアップを図り本訓練に望みました。

訓練は、平日の8時に月寒断層を震源地とする震度6以上の地震が発生し、ライフラインの途絶や交通機関が一部麻痺している状況で開始され、「病院施設の点検」「作戦室の開設・運用」「子弟一歩預かり所の開設」「大量傷者対処チームの運用・活動及び病院各部門との連携要領」について検証しました。準備の段階から人員配置や資材等を見積もることの重要性を再認識するとともに、各部署の連携要領を具体化するなど、今後の計画等の実効性向上の資を得ました。また、本訓練には北部方面総監（吉田陸将）、北海道の危機対策課長を始め、札幌市保健福祉局及び札幌市医師会並びに札幌医科大学、予備自衛官の医師など8名の方々に研修いただいたいき、研修後の意見交換において活発な議論が行われました。

《初級陸曹特技課程「准看護師」総合訓練》



担架班による後送



連隊収容所内での傷病者の処置

令和元年10月15日（火）18日（金）、自衛隊札幌病院准看護学院は、北海道大演習場真駒内射場地区において、第43期初級陸曹特技課程「准看護師」学生25名（男子14名、女子11名）に対して、第一線救護及び連隊収容所の開設・運営について基礎的事項を習得させ、衛生救護陸曹として必要な知識と技術の向上を図ることを目的とし、総合訓練を実施しました。

17日（木）、病院長、副院長、方面最優先上級曹長（金子准尉）及び最優先上級曹長が視察する中、すき台に展開した学生達は、状況開始と共に白煙の中、第一線で負傷した傷病者を捜索し、発見した傷病者をトリアージ後、応急処置及び後送を行いました。

また、はざま台に開設した連隊収容所では、医官の指示のもと、傷病者へ継続的に声を掛けつつ、処置介助や看護を実施しました。

視察した大鹿病院長が、「今回の訓練の学びを、今後部隊配属されてから発展させ頑張ってもらいたい」と訓示するとともに、最優先上級曹長から優秀隊員3名に対し、方面最優先上級曹長褒章が授与されました。